

高松宮賜杯 第62回全日本軟式野球(1部)・長崎県大会 各支部予選会 【トーナメントスコアは各支部提供】

佐世保支部

佐世保市役所	2
エンジェルス	7
佐世保市水道局	0
ケンズ	3
西海クラブ	4

大村支部

中村クラブ	1
ブルーエンジェル	6
TEAM橋口	5
大村市役所野球部	6

平戸支部

西龍クラブ	7
ALL生月	3

長崎支部

長崎市役所	
長崎三菱自動車販売	
西部ガス長崎	
九州電力長崎	

福江支部

三井楽クラブ	
福江球友会	
福江ドリームスター	
富江クラブ	
福江クラブ	

東彼杵支部 【開催地】

長崎サニクリーン 彼杵スラッガーズ

対馬支部

制覇クラブ	7
巖原マリナーズ	0
上対馬メッツ	1

松浦支部

松浦ベイスターズ	7
松浦まーくんず	0

諫早支部

たちばな信用金庫
轟クラブ
森山クラブ

西海支部

㈱大島造船所
大島ファイターズ
J-POWERS松島

県北支部

アリアケジャパン(株) 鹿町バンビーズ
グランドスラム ナインズ

上五島支部

上五島ブローズ 上五島クラブ
舛田グループ 若松クラブ

県南支部

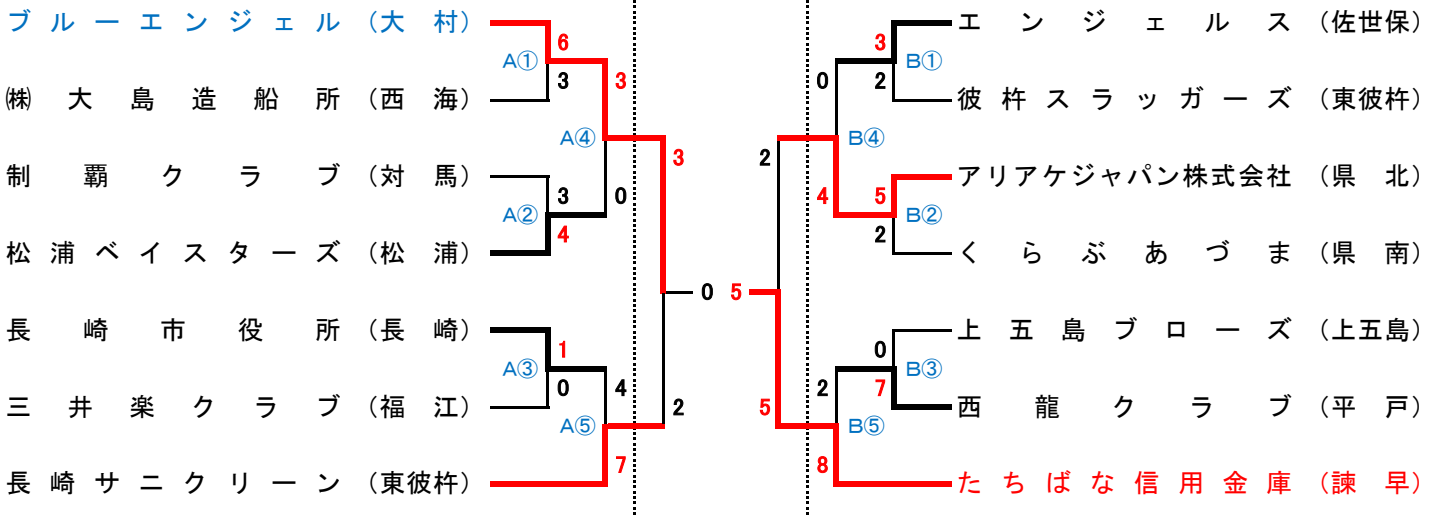
くらぶあづま	9
南串野球部	2

島原支部と壱岐支部はB級登録チームなし

長崎県大会

会期：平成30年5月26日～27日

会場：波佐見町鴻ノ巣公園グラウンドA、B



【一回戦】A ①

㈱大島造船所	001 010 1	3
ブルーエンジェル	311 100 X	6

【一回戦】A ③

三井楽クラブ	000 000 0	0
長崎市役所	000 010 X	1

【一回戦】B ②

くらぶあづま	100 100 0	2
アリアケジャパン(株)	010 013 X	5

【一回戦】A ② 延長八回タイブレーク

制覇クラブ	000 002 01	3
松浦ベイスターズ	000 200 02x	4

【一回戦】B ① 六回時間切れ

彼杵スラッガーズ	011 000 時	2
エンジェルス	000 102x 間	3

【一回戦】B ③ 五回コールドゲーム

上五島ブローズ	000 00	0
西龍クラブ	400 12x	7

【二回戦】A ④

ブルーエンジェル	011 000 1	3
松浦ベイスターズ	000 000 0	0

【二回戦】B ④

エンジェルス	000 000 0	0
アリアケジャパン(株)	101 200 X	4

【準決勝】

ブルーエンジェル	200 001 0	3
長崎サニクリーン	000 100 1	2

【二回戦】A ⑤ 六回時間切れ

長崎サニクリーン	201 103 時	7
長崎市役所	101 002 間	4

【二回戦】B ⑤

西龍クラブ	020 000 0	2
たちばな信用金庫	021 320 X	8

【準決勝】

たちばな信用金庫	000 102 2	5
アリアケジャパン(株)	110 000 0	2

【決勝】 協議により七回戦 打安点振球犠盗併失残

たちばな信用金庫	200 011 1	5	28	8	4	3	5	1	1	0	0	8
ブルーエンジェル	000 000 0	0	25	4	0	5	0	0	0	0	2	4

投手-捕手

石場-磯口

【本】道副(た)

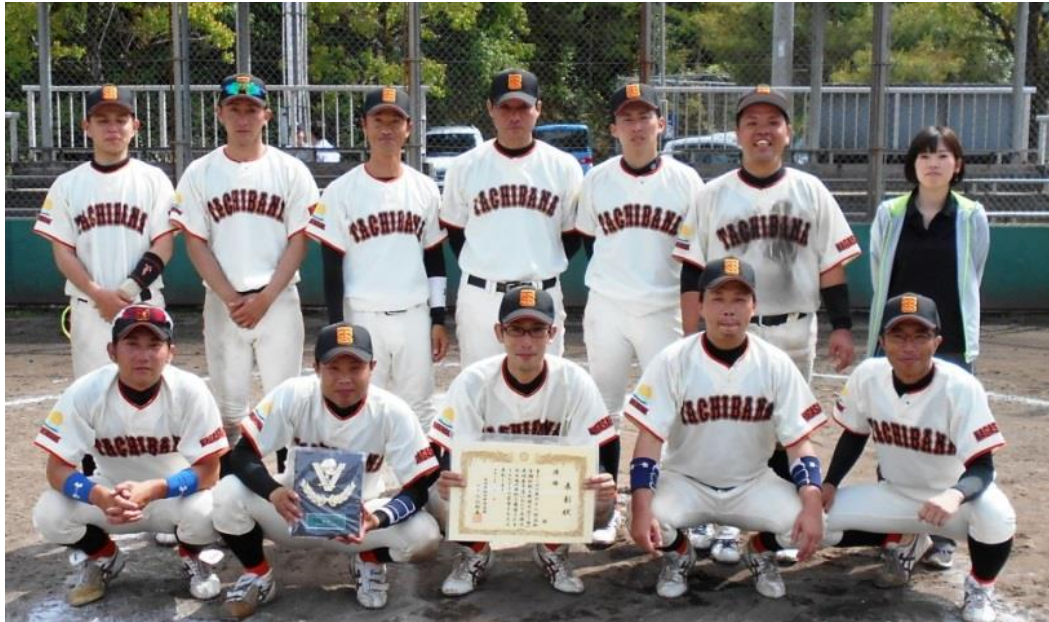
川口、吉田、松添-酒井

初回のたちばな信金は先頭死球と内野安打の2走者を3番石場の投犠打で二三塁とし4番村川の右適時打と続く安田の投ゴロにより幸先の2得点。二回にも一死後に下位打線の連安打と四球の一死満塁は後続が無かった。

五回には先頭四球から暴投や内野ゴロで三進後に暴投生還

で加点すると、六回は二死後に9番道副が左越えソロ本塁打。七回にも先頭四球からの一死二塁に村川の左適時打でダメ押し点。

ブルーエンジェルは散発の4安打。二塁を踏んだのは初回と三回で何れも二死後。たちばな信金の石場から無四球の5奪三振に封じられた。



たちばな信用金庫は、諫早信用金庫のチーム名時代を含め、高松宮賜杯1部長崎県大会で8年ぶり7回目の優勝。4度の全国大会出場しているが初戦を突破したのは直近の平成22年のみで、高松宮賜杯1部全国大会は1勝4敗。

登録は13人。(監督)松川亮平 (主将:投手)早田侑樹 (投手)山口良平 (捕手)磯口孝 (内野手)田中翔伍、中原昇平、川原佑葵、村川雄一、山下圭、森山成人 (外野手)安田智明、道副佑紀、石場圭

近年の長崎県代表チーム戦績

29年	長崎サニクリーン	九州	5-3 JA宮崎信連	25年	中村クラブ	九州	3-8 電化スターズ(福岡)
		全国	0-3 富山日野自動車	24年	支払基金クラブ	九州	1-8 アグリ村上(熊本)
28年	JF県漁連野球部	九州	8-1 デンカ櫛大牟田工場(福岡)	23年	嶺南原	九州	2-4 宮崎サニクリーン
		全国	3-2 佐藤カプセラーズ(奈良)	22年	たちばな信用金庫	九州	宮崎に敗退したが辞退で全国へ
			2-6 ウィングス倶楽部(埼玉)			全国	6-5 中村メッツOBクラブ(京都)
27年	JF県漁連野球部	九州	1-3 Canon大分				3-6 BLAVERS(兵庫)
26年	JF県漁連野球部	九州	3-0 アルテミス(宮崎)	21年	アリアケジャパン	全国	1-3 経堂農大通りクラブ(東京)
		全国	0-2 BABERUTH(滋賀)	20年	たちばな信用金庫	全国	1-4 山形市役所(山形)

九州ブロック大会 7/28: 大分県 別府市民球場

九州ブロック大会の開催県代表と沖縄県代表はブロック大会を経ずに全国大会へ出場する

(長崎)	たちばな信用金庫	1
(宮崎)	高鍋クラブ	2
(熊本)	オール大矢野	3
(福岡)	福岡ひびき信用金庫	10
(佐賀)	佐賀信用金庫	1
(鹿児島)	大口消防署	11

大分県代表は、大分サニクリーン

【代表決定戦】

打安点振球犠盗併失残

たちばな信用金庫	000 100 000	1	33	4	0	8	3	0	1	0	1	8
高鍋クラブ(宮崎)	002 000 00X	2	29	4	1	7	1	0	2	0	3	4

【三】高鍋ク1 【二】石場、高鍋ク3

二回裏二死後に高鍋の6番横山の三塁打は無得点に抑えたが、三回裏一死後に9番の二塁打と失策出塁の一三塁に重盗。二死後に3番の二塁打で2失点。四回以降は八回二死後の二塁打と死球の2走者だけ。

たちばな信用金庫は四回に敵失出塁から二盗や失策が絡んで1点返し、六回一死後に石場の二塁打や、八回二死後に森山、石場に連打が出て、4番に期待したが凡退。最終九回も安田の安打と代打松川の四球で二死一二塁と同点機を作ったが後続が無かった。

- ④ 川原
- ⑦ 森山
- ① 石場
- ⑥ 村川
- ③ 田中
- H3 中原
- H 道副
- ⑧ 安田
- ⑨ 松崎
- ② 磯口
- H 松川
- ⑤ 早田